

2019年1月28日
株式会社東陽テクニカ

**次世代無線 LAN 規格 IEEE 802.11ax(Wi-Fi 6)対応
Ethernet/IP パフォーマンステスト
「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」を販売**

**～IEEE 802.11ax 対応無線 LAN アクセスポイント/ネットワークの
パフォーマンスとスケーラビリティが、1 台で評価可能に！～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである Spirent Communications Inc.（本社：アメリカ・カリフォルニア州サンノゼ）が開発・製造する次世代ネットワークパフォーマンステスト Spirent TestCenter シリーズの「C50 アプライアンス」に、次世代無線 LAN 規格 IEEE 802.11ax(Wi-Fi 6^{*1})対応の新モデル、Ethernet/IP パフォーマンステスト「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」を加え、2018年12月12日に販売を開始いたしました。

「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」は、今後、無線 LAN 通信として主流になると予測されている次世代無線 LAN 規格 IEEE 802.11ax^{*2}（以下 11ax）に対応した無線 LAN アクセスポイント（以下 AP）や無線ネットワークのパフォーマンスとスケーラビリティの評価試験をオールインワンで提供する Ethernet/IP パフォーマンステストです。無線 LAN ネットワークシステムの、AP や無線 LAN ネットワークの同時接続ユーザ数、および有線ネットワークの通信速度を 1 台で正確に評価・可視化することができます。11ax における無線 LAN AP/ネットワークの品質・性能を可視化することで、通信事業者や無線 LAN ネットワーク構築事業者は、利用者の満足度向上が図れる最適な無線 LAN 環境の構築と安定した高品質な通信サービスの提供が可能になります。また、無線 LAN 機器メーカーは、システム毎に事業者が求める仕様に合致する既存製品の提供、さらには新製品の開発を効率的に行うことができ、リードタイムの短縮や工数の削減、売上増加につなげることができます。

早速、本製品は、日本の大手通信事業者に採用されました。



Ethernet/IP パフォーマンステスト「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」

スマートフォンやタブレット端末が普及し、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会や 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった大規模イベントの開催に向けて、公衆無線 LAN 環境のさらなる整備・拡充が求められています。無線 LAN 環境を構築する際、AP の性能・品質を正確に把握することは非常に重要です。しかし、AP のデータシートのデータはあくまでも一定条件下のみの試験結果であり、通信事業者や無線 LAN ネットワーク構築事業者が独自に求めるシステムの要件に合致するパフォーマンスやスケーラビリティを持つかどうかを正確に把握するためには、無線 LAN ネットワークシステム毎にそれぞれ AP の評価試験を行う必要があります。

また、現在最も主流な無線 LAN 規格は IEEE 802.11ac ですが、さらなる高速化や安定性を目指して 11ax の標準化が進められています。11ax の主な特長として、5GHz 帯と 2.4GHz 帯のサポート、OFDMA^{※3} サポート、キャパシティ向上、低消費電力および高速な最大伝送レートのサポートなどが挙げられ、今後の無線 LAN 市場で主流の規格になると予測されていて、急速に 11ax 対応の無線 LAN AP/ネットワークの試験需要が増加しています。

これらのニーズを満たすテストとして東陽テクニカはいち早く、11ax 対応の無線 LAN AP や無線ネットワークのパフォーマンスおよびスケーラビリティの評価試験をオールインワンで提供する、Ethernet/IP パフォーマンステスト「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」を発売しました。無線 LAN ネットワークシステムの AP や無線 LAN ネットワークの同時接続ユーザ数、ならびに有線ネットワークの通信速度を、正確に評価・可視化することができます。また、現在の無線 LAN 規格である IEEE 802.11 a/b/g/n/ac も評価可能で、現世代および次世代の無線 LAN AP/ネットワーク評価が 1 台で実施できます。

通信事業者や無線 LAN ネットワーク構築事業者は、システム要件に合致する適切な AP を選定することで最適な無線 LAN 環境の構築と通信品質の担保ができ、さらに安定かつ高品質な通信サービスの提供が可能になります。また、AP の選定に伴う無駄な投資や工数削減に寄与します。無線 LAN 機器メーカーは、通信事業者が無線 LAN ネットワークシステム毎に求める仕様に合致する AP の提供が的確にできるようになり、さらに効率的な新製品開発や既存製品のアップグレード、リードタイムの短縮、工数の削減を実現できます。

東陽テクニカは、次世代ネットワークパフォーマンステスト「Spirent TestCenter」シリーズに、無線 LAN インターフェースとして「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」をラインアップに加えることで事業を強化し、今後も無線 LAN ネットワークに関わる事業全体を支え、貢献してまいります。

【 Ethernet/IP パフォーマンステスト「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」の主な特長 】

IEEE 802.11ax 対応無線 LAN アクセスポイント/ネットワークのパフォーマンス試験やスケーラビリティ試験が 1 台で実施可能。

- ・無線 LAN 最大同時接続クライアント数：256
- ・最大伝送レート：4.8Gbps
- ・対応規格：802.11 a/b/g/n/ac/ax
- ・対応 MIMO：1x1, 2x2, 3x3, 4x4, 8x8
- ・Rader シグナル生成ポート搭載により 5GHz 帯 DFS^{※4} 試験シグナルの生成が可能
- ・有線 LAN ポート数：10G/5G/2.5G/1G/100M BASE-T 4 ポート
- ・「Spirent TestCenter」がサポートする全てのプロトコルエミュレーション（DHCP, PPPoE, 802.1x など）と連携可

【製品データ】

製品名：Ethernet/IP パフォーマンススタ「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」

発売日：2018年12月12日

【Spirent Communications 社 シニア・ハードウェア・プロダクトマネージャー Liang Jin 氏のコメント】

「次世代の無線 LAN 技術に対応した Spirent の新しいテストソリューションが、日本のお客様にいち早く採用いただけたことを誇りに思います。」

※1 Wi-Fi Alliance が提唱する IEEE 802.11ax の呼称。

※2 High Efficiency (HE) Wireless LAN Task Group にて標準化中の次世代無線 LAN 規格。2019年1月現在。

※3 直交周波数分割多元接続 (Orthogonal Frequency-Division Multiple Access)。同一周波数の電波を複数ユーザで共有する「多元接続」方式の新技術。

※4 アクセスポイントが Rader 間の干渉を避けるために利用するチャンネルを他のチャンネルへ遷移させる機能。

<Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications 社は、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーです。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器メーカー、一般企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、リーディングカンパニーとして長年通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、400G イーサネット、5G/LTE/無線 LAN/衛星通信、NFV/クラウド、IoT/M2M、セキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。

東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

Spirent Communications Inc. Web サイト：<https://www.spirent.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250 (直通) E-mail : testcenter-sales@toyo.co.jp

Spirent TestCenter シリーズ「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」紹介ページ

https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/testcenter_wifi-access-point.html

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。